

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	四国中央市		代表者名	四国中央市長 篠原 実	
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	市民部 医療対策課	連絡先電話番号	0896-28-6157
担当者役職	主査	担当者氏名	合田 充雄	連絡先E-mail	
住所	799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	(仮称)メディカルモビリティ事業		
概要	マルチタスク車両を活用して「オンライン診療」を行う「(仮称)メディカルモビリティ事業」の検討にあたり、関係法令への準拠や関係者との合意形成、持続可能な事業スキーム等について、地域情報化アドバイザーが有する経験に裏打ちされた知見をもとに助言・支援頂きたいと考えています。				
支援を求める分野	医療・介護・健康				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	35	令和6年8月9日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年6月26日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	18時00分	60
			活動時間(分)	420	
2-2. 派遣場所	会場名	四国中央市役所		最寄駅	JR伊予三島駅
	所在地	四国中央市三島宮川4丁目6番55号		最寄駅からの交通手段	徒歩15分

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	安江アドバイザーが有する知見をもとに、市役所内での認識共有・意識醸成が図られたものと考えている。 また、安江アドバイザーのこれまでの経験をもとに、本市での実現可能性について具体的な助言を頂けたことは、非常に価値のあるものだと考えている。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、本取組に限らず、様々な取組において意見交換の機会を頂けますと幸いです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	55人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	50	0	5	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	この取組の事業化に向けて、市役所内での意識醸成に課題があると感じている。介護・福祉部門や交通部門をはじめ多くの部署間の連携が必要であるが、それぞれの部署ごとに取組の必要性の認識に違いがでている。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	・市役所内での意識醸成を図ること。 ・今後の取組に向けた、方向性を確認すること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	市役所内の職員向けに先進自治体での取組や本市での実現可能性について講演頂いた。 その後、講演を踏まえて、今後の取組についてフォローアップをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	市役所内の職員向けに講演いただいたことで、認識の共有が図られ、本市での取組についてイメージの具体化が図られたものと考えている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今後の調整事項も多く、現時点では成果物はない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	これまで検討していた診療所とのオンライン診療に加え、医薬品のドローン配送等や病診連携等も含めて関係者が拡大したこともあり、事業化に向けた関係者間の合意形成を図るべく調整が必要である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 通院患者への利便性向上に向けたアンケート調査を行った結果、居住地域や通院手段等により負担と感ぜられないように差異があることを把握した。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する ・デジタル田園都市国家構想交付金の採択を目指し、年度内の予算化・事業構築・運用開始を図る。 ・関係者との合意形成を図り、事業構築に向けて各種調整を図る予定である。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	市内においてモビリティとオンライン診療を組み合わせることで、誰もが医療を受けられる環境を整備することで、市民の安心安全な暮らしを維持できる環境および持続可能な地域医療提供体制の構築が実現されることを目標としている。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

